

[アルカディアホームニュース] 住まいのかわら版



不快な害虫、ダニを撃退してアレルギーを防ごう

カーペットのお手入れで 快適環境づくり

防音や足への負担を緩和する効果があり、インテリアとしても欠かせないカーペット。しかし、ダニの住みかとして嫌われることも。ダニはアレルギーの原因にもなりますので、しっかりと対策をしましょう。

発生しやすい環境を知る

ダニの発生を防ぐにはまず、発生しやすい環境を知っておくことが重要です。ダニはカビや人間の皮膚から落ちたアカ、食べこぼしなどを栄養として、畳やカーペット、寝具などを住みかとします。また、ダニが好むのは、湿度60～80%、温度が25～30℃の環境。梅雨の時期はちょうどこのような環境になり、ダニが発生しやすくなります。



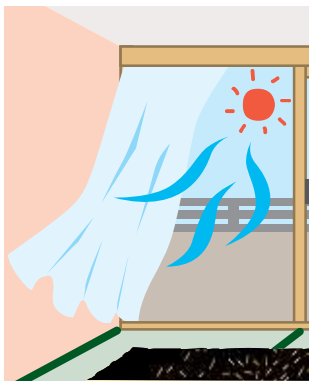
湿気を防ぎ掃除をする

ダニの発生する環境がわかったら、次は対策です。



換気をする

湿気をためないために、天気の良い日には必ず換気。雨が降り続くときなどは、除湿器を用いるのもよいでしょう。畳の上にカーペットを敷くのは湿気がたまりやすいので、敷くのを避けるか敷く場合でも、部屋の広さよりも小さめのカーペットにし、時折めくり上げて風を通しましょう。



こまめに掃除機

ダニのえさとなるゴミを取り除くため、こまめに掃除機をかけましょう。かける時は、カーペットの毛足を起こすようにゆつくりと軽く。ダニは1週間で卵からかえるので、週に2回は掃除機をかけるようにすれば、ダニの発生が抑制できます。

〈一口メモ〉

カーペットの材質や毛足によってもダニの発生しやすさが違ってきます。化繊のほうがウールよりも湿気がたまりにくく、また毛足の長いものよりも短いもののほうが、すき間にたまったゴミを掃除しやすく、ダニ対策には有効です。

カーペットも拭き掃除を

カーテンや洋服を洗濯することはあっても、カーペットを洗濯することは少ないようです。家庭の洗濯機で丸洗いというのはなかなかできませんが、1～3ヶ月ごとに拭き掃除をするとスッキリします。

拭き掃除に適しているのは、晴れた湿度の低い日。雑巾を硬く絞り、小さな円を描くようにして表面を拭いていきましょう。キレイにさっぱり、気分が良くなりますよ。



ダニの発生を抑えるには普段の掃除と湿気対策が大事。 うっとうしい梅雨のシーズンをすっきり快適に過ごしましょう。

くらしを快適にする住まいのリフォームのご相談は弊社までどうぞ。

【発行】 アルカディアホーム 志木店（株）東日本都市開発

〒353-0007
埼玉県志木市柏町4丁目5-1
TEL 0800-888-6522